

(様式)

親子の学び応援講座実践報告書

| | |
|--|--|
| P T A 名 | 南会津町立檜沢中学校父母と教師の会 |
| 講座開催日 | 平成28年7月8日(金) |
| 会 場 | 南会津町立檜沢中学校 体育館 |
| 参加人数 | 68名(生徒36名、保護者18名、職員11名、その他3名) |
| 実践活動テーマ | メディアコントロール |
| テーマ設定の理由及び実践活動のねらい | インターネットやスマートフォンなどの利用時間の増加に伴い、家庭学習や読書の時間が減少しつつある現状を踏まえ、講師の講話や演習を通して改めて自らの家庭生活を振り返り、生活習慣・学習習慣の見直しを図る機会とする。 |
| 講座及び実践活動内容 | |
| <p>秋田大学大学院教育学研究科教授の阿部昇先生を講師にお迎えし、『学力』と『授業』についての考え方の変化と学力向上～秋田県の学力向上の取組を紹介しながら～と題した講演会を開催した。</p> <p>講演の前半では、小学校の算数や国語の簡単な問題を題材に、生徒自身に考えさせ、話し合わせ、発表させながら、これから重視される「学力」について具体的に教えていただいた。このことを通して、「知識を持っていること」はもちろん大切だが、それ以上に「なぜそうなるのかを自分のことばで表現できること」が大切であることを、実感を伴って理解することができた。</p> <p>講演の後半では、学力を向上させるためのポイント5点を、講師自身の経験や具体例を用いて教えていただいた。そのポイントとは、①授業こそ力をつける最高の時間 ②発言・発表、話し合い・意見交換が学力を向上させる ③家庭学習は一人で行うだけでなく、周りの人の力を借りる ④生活習慣は学力向上の「底力」になる ⑤読書を自分の「楽しみ」の一つにしてしまう の5つである。</p> <p>ご自分を読書好きにさせた子どもたちの経験を紹介しつつ、読書の楽しさや読書が人間形成に果たす大きな役割についてお話しいただき、メディアから離れて読書の時間を持つことの大切さについてご指導いただいた。友だちや家族を巻き込んだ交換読書の勧め、新聞の活用など、読書の幅を広げる具体的な方法についても教えていただいた。</p> <p>生徒はもちろん、保護者や教職員にとっても、自らのメディア漬けの毎日を振り返り、改めて家庭生活時間や生活習慣の見直しを図るよい機会となった。</p> | |
|    | |

※講座及び活動内容の概要を記入してください。また、内容が分かる写真等を挿入してください。参考資料があれば添付してください。